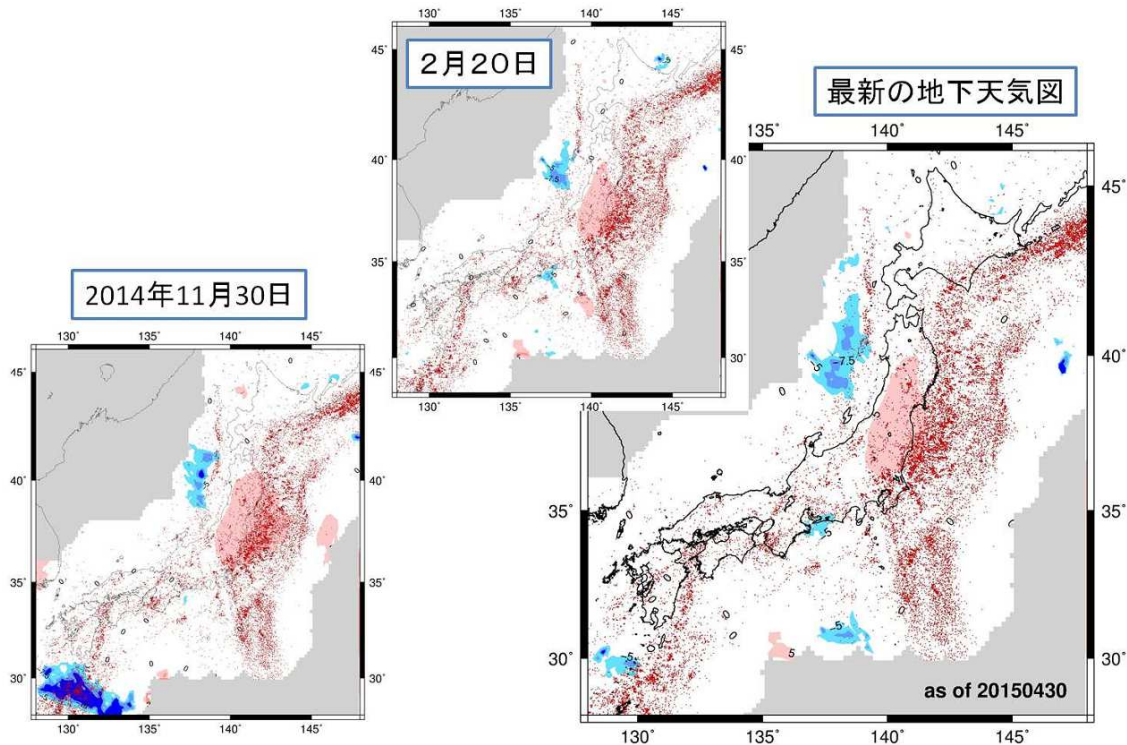


鹿児島県・口永良部島の噴火

5月29日、鹿児島県の口永良部島が噴火しました。口永良部島の新岳は2014年8月に34年ぶりに噴火し、それ以降噴火警戒レベル3が続いていました。人口が130名あまりという事で、対策はとにかく全島避難が前提で進められてきました。先週の土曜日からかなり火山性地震が増加しており、警戒を強めていた矢先の出来事でした。前回のニュースレターで昨年からは鹿児島県南方沖で地震活動の静穏化（11月30日の地下天気図で明瞭）が認められましたが、地震活動の静穏化・活発化というのは基本的に地下でどのような力（応力）が働いているかを表している訳ですから、この静穏化が火山活動変化を反映している可能性は高いと考えています。



前回5月8日の情報の再掲

同様な現象は昨年の御嶽噴火の前にも中部地方全域の静穏化として観察されてきました。地震活動度変化と火山噴火との関係にはまだ不明な点も多く、今後の研究課題である事は間違いありません。

箱根火山について

箱根火山では火口周辺の立ち入り規制が続いていますが、現在の地震活動を比較的容易に確認する方法があります。箱根周辺での観光、ゴルフ等の際にはちょっとウェブをチェックしてからお出かけ頂ければと思います。以下にその見方を示します。ウェブの名前は「基盤的火山観測網」と言い、つくばの防災科学技術研究所の中のそのサイトはあります。

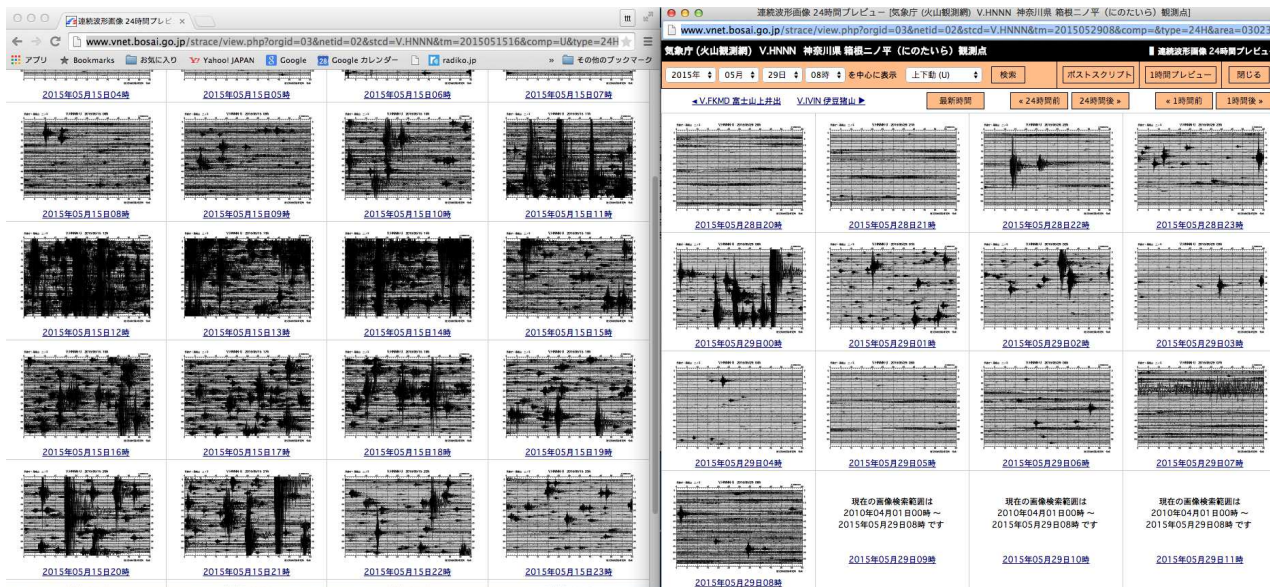
検索で「VNET NIED 火山」と入れて頂くと一番上に「防災科学技術研究所 基盤的火山観測網」というページが現れます。そこをクリックして、右下の「連続波形画像」をクリックします。火山観測網は日本の縦割り行政の常で気象庁と防災科学技術研究所の2つの観測網があります。箱根山は気象庁の管轄となっています。24時間プレビューというのでご覧ください。具体的には箱根の24時間データは以下のURLになります。24個の

グラフが一度に表示されますが、1つのグラフが1時間の地震記録です。**24時間前**というボタンを活用してください。これにより前日のグラフを見る事ができます。

<http://www.vnet.bosai.go.jp/strace/view.php?orgid=03&netid=02&stcd=V.HNHN&tm=2015052908&comp=&type=24H&area=030230>

箱根の場合は上記 URL をコピー&ペーストしてブラウザでご確認ください。本当に火山活動が活発な時は以下のように画面の一つ一つの窓（1時間の記録）が真っ黒に見えます。

<http://www.vnet.bosai.go.jp/strace/view.php?orgid=03&netid=02&stcd=V.HNHN&tm=2015051516&comp=U&type=24H&area=030230>



活動の激しかった5月15日の記録

5月29日の状態

(地震が多いと記録が全体に黒く見える)

また下の図は大涌谷を中心とした半径500mおよび1kmの円を表します。主要なゴルフ場は少なくとも1.5kmほどは離れておりますので、現状では万一小規模な噴火があっても、安全上は問題ないと考えられます。



また5月25日には、関東地方で震度4を記録した地震が発生しました。311以降、首都圏の地震活動の評価が極めて困難な状態が続いていますが、この地震を解析する事を現在進めており、311以降の新しい経験則（最適パラメータの推定）の確立を現在目指しています。次回以降の情報でお知らせできると思います。